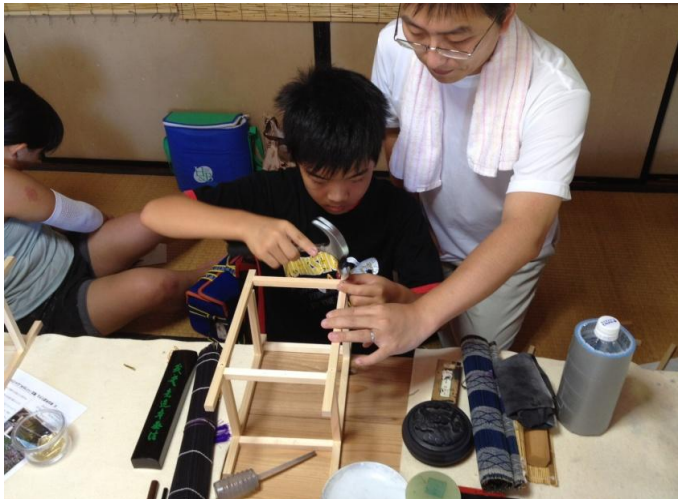


行灯づくりワークショップ

対象エリア	南越前町今庄宿
日時	平成24年9月1日（土） 9:00～12:00
開催場所	旧旅籠若狭屋
対象者（人数）	今庄地区の親子 参加者20名
設置日時	平成24年9月15日（土） 18:00～21:00
主催	福井県
協力	NPO法人 今庄旅籠塾
ねらい	昔ながらのまち並みが残る今庄宿の風情を演出するために、住民自らが考え行灯を製作し、地元のまち並みや住まいに対する誇りと愛着を育んでもらう。 前夜祭に行灯を設置することで、製作者はもちろん、ワークショップに参加しなかった住民にも、まち並みに関心を持ってもらう。
プログラム	1. 行灯のフレームを組み立てる 2. 和紙に絵の具で「今庄」にちなんだ文字や絵を描く 今庄にちなんだキャッチフレーズや歌などを書き、文字だけではにぎやかさがないため今庄にちなんだ絵も描く。 3. 行灯を設置する 前夜祭の時に行灯を設置する。（プログラム1，2とは別日）
準備物	【行灯材料】 ・木材（事前にカット、釘打ち箇所ドリルで穴あけしておく） 300mm×12mm×12mm 行灯1基あたり4本 150mm×12mm×12mm 行灯1基あたり10本 ・釘（行灯1基あたり20本） ・和紙（行灯1基あたり260mm×700mm） 【水ロウソク材料】 ・両面テープ（ロウソク容器を固定するための物） ・ロウソク容器 ・牛乳パック等 ・麻紐 ・廃油 ・水 【製作のための道具】 ・木工用ボンド ・かなづち ・はさみ、カッターナイフ ・絵の具セット、習字セット



まずは行灯のフレームづくりを行った。釘を打つのが久しぶりの大人や初めての子どもも多く、釘を打つ場所を間違えるなど苦労しながら製作していた。



釘を打つことが初めての子どもでも、サポートしてあげることによって製作できた。



フレームが完成したら、次は和紙に文字や絵を描いた。今庄にちなんだものというお題で、それぞれの個性が出てバラエティーに富んだ行灯が多かった。



写真では16基の行灯が並んでいるが、これ以外にも前夜祭までに吟味して製作したいと材料を持ち帰った住民もいた。



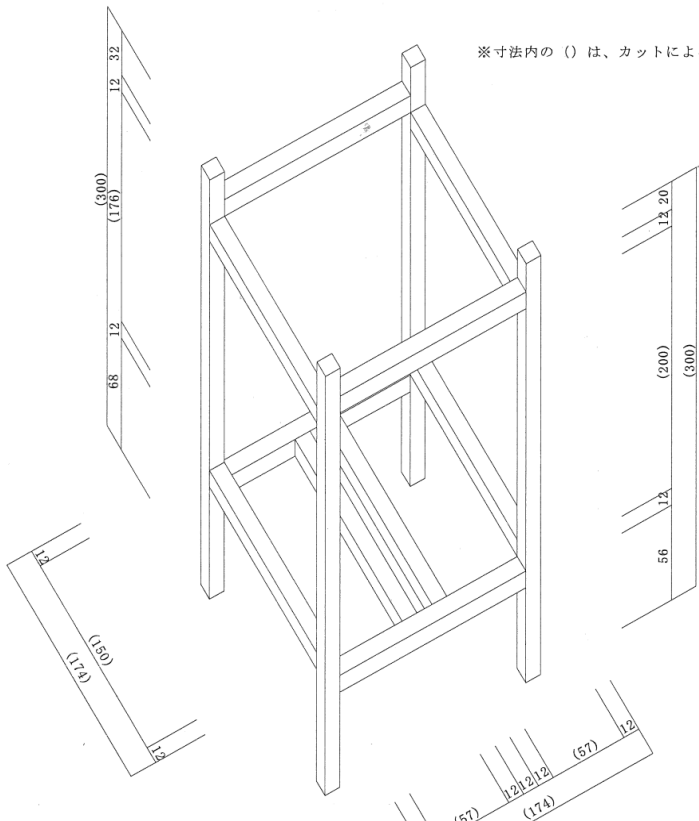
絵だけでなく、写真のように切り絵で行灯を製作した人もいた。



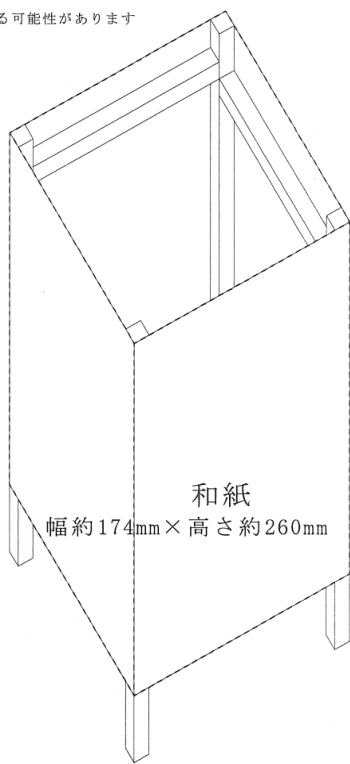
旧旅籠若狭屋の前に行灯を設置して灯した風景。若狭屋以外にも、周辺の道路沿いに設置し、今庄宿の風情が演出された。

行灯の寸法や組み立てする上での注意事項

※寸法内の () は、カットによる施工誤差により1~2mm変わる可能性があります



行灯寸法図



和紙
幅約174mm×高さ約260mm

完成予想図

※注意事項等

それぞれの木材は釘を打ってとめる。木工用ボンドも併用するといいい。

直行する横材同士を釘打ちする際に干渉しないように、横材は段違いになっている。

和紙に絵を描く前に、フレームに巻きつけて折り目を付け一面の大きさを確認する。

横材を真ん中に2本つけてある部分にロウソクを置く。

水ロウソクの作り方



水ロウソク

- ① 牛乳パックを透明な容器に入るぐらいの大きさに切る。
- ② 切った牛乳パックの真ん中に穴をあけ、麻紐 (3~4cm) を通す。
- ③ 透明な容器に水を3/4ほど入れる。
- ④ 油を入れる。
- ⑤ ②で作った芯を浮かべる。

※ 牛乳パックの大きさや穴の開け方によって沈んで火が消えてしまうことがあるため、芯をいくつか作っておくといい。

行灯に描く絵や文字の例



左側面

正面

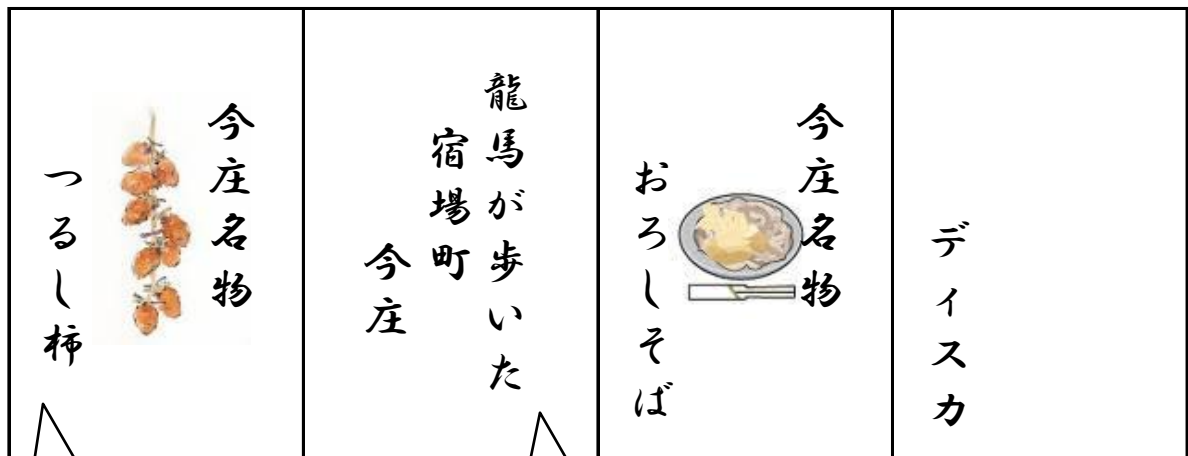
右側面

背面

地区にちなんだ歌を詠んだ例。オリジナルでもいいし、歌人や俳人がその地区で詠んだ歌でもいい。

歌に合わせて絵を入れた例。

背面には製作者の名前を必ず記入することとした。



左側面

正面

右側面

背面

地区の名物や名産などを挿絵と併せて描いた例。

キャッチフレーズのようなものを入れるのもいい。

※注意事項等

行灯のフレームにかかるように文字や絵を描くと、ろうソクを灯しても見えない。文字だけだとにぎやかさがなくなるので、できるだけ絵も入れる。

(切り絵は文字だけでも見栄えする)